
Presented by Kotokisoyo
小桃姫そよ
スパダリ淫魔が薄幸女を催淫調教で番堕とすまで
supadarinma ga hakkowonna wo saiinchoukyoude tugaiotosumade

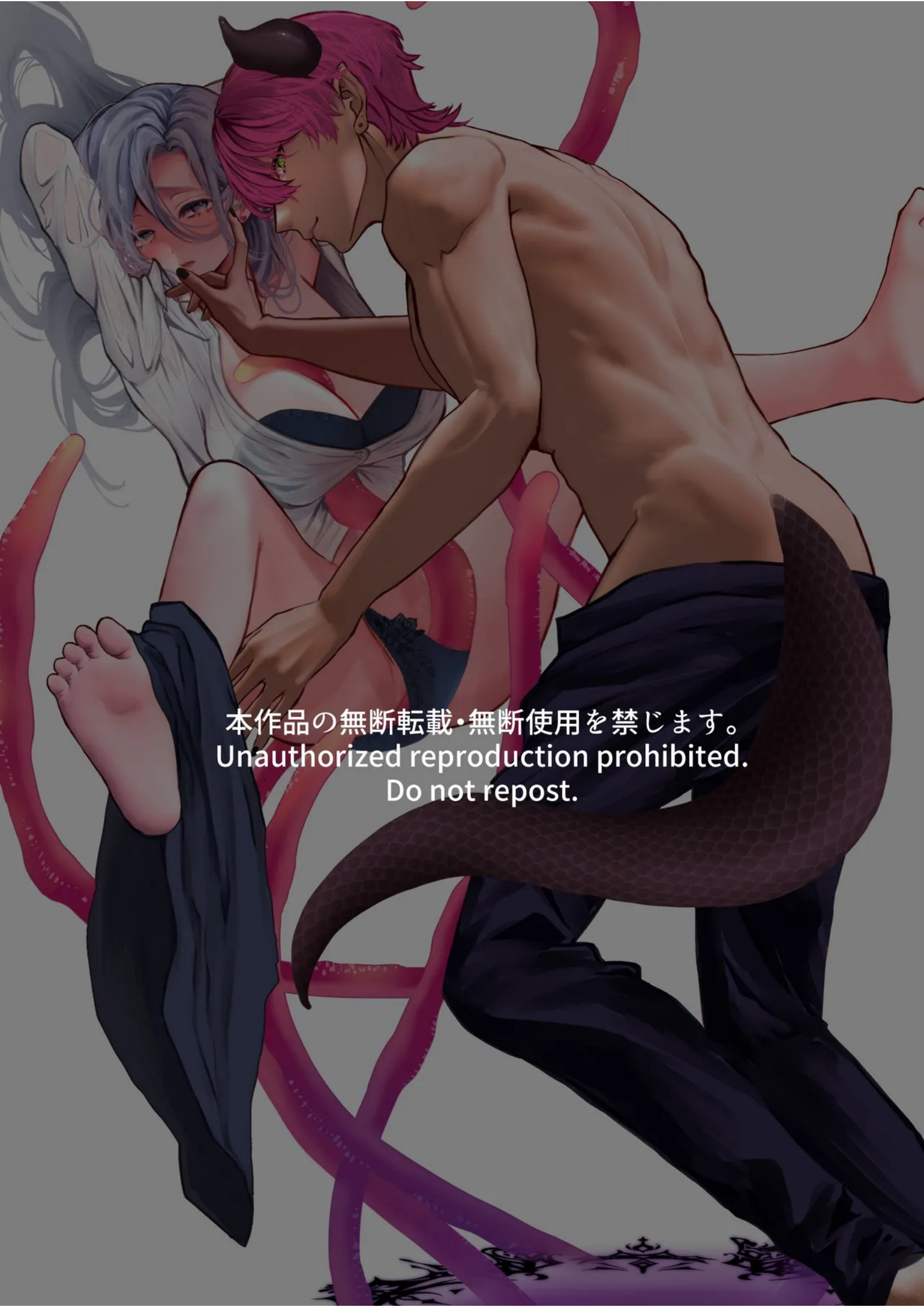
この作品は、2022年発行の

【オムライスを作ろうとしたら
溺愛スパダリモンスターができあがりました。】

という読み切り漫画（32P）を加筆修正、
大幅にエピソードを追加したものになります。

重複購入いただいても楽しめるように描いておりますが、
ご留意くださいますよう、よろしくお願いいたします。

また、上記作品は現在はご購入いただけません。


本作品の無断転載・無断使用を禁じます。
Unauthorized reproduction prohibited.
Do not repost.


ルカくんっ…
もう
会社にチコクしちゃ、
だーめ♡
朝ごはんはしっかり食べないと


っご、
ごはん、なら
ある
のにぃ…っ♡
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ


俺にはおねーさんの
えっちな汁とか
ぐぐ
ぶるん
はっ
はぁ
ぁぁ
ちゅうう
あまぁい声が
ごちそうなんだって
だって俺は

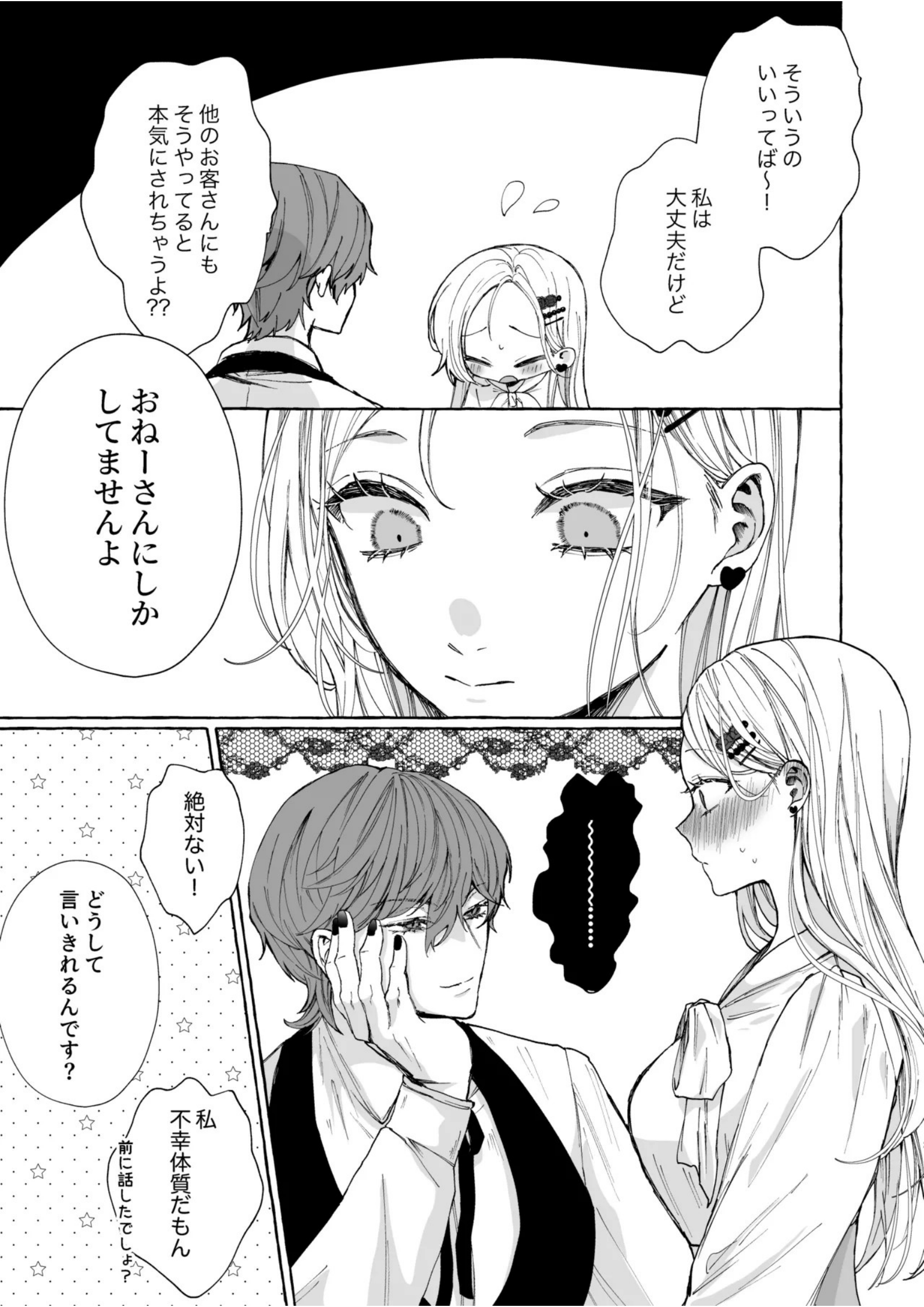

淫魔だから♡
私の家には
淫魔が
住み着いてる
きっかけは
数日前…


それで
今日は何が
あったんですか？
MurMur
cafe


電車乗ろうとしたら
ヒールが折れて
乗り過ごして
えー!??
会社ではなぜか
私のパソコンだけ
不具合起こして
数日分のデータ
吹き飛んじゃって
残業確定で


憧れのセンパイに
彼女がいるの
知っちゃった……
神代小雨
（かじろこさめ）
23歳・会社員


先日は
フリー確定したって
言ってませんでした？
魔門（まもん）ルカ
20歳・大学生
違ったの～～～！
そんなに
好きだったんですか？
センパイのこと
好きっていうか
推し……？
妬けちゃうな


そういうのいいってば～！
私は大丈夫だけど
他のお客さんにもそうやってると本気にされちゃうよ??
おねーさんにしかしてませんよ
絶対ない！
どうして言いきれるんです？
私不幸体質だもん
前に話したでしょ？



だから
年下のカッコイイ
男の子に好かれるなんて
絶対ないもん！

お褒めに預かり
光栄です♥

おねーさんも
可愛いよ♥

からかわないで
ってば～～～っ！


Mur Mur cafe
はいはい
お詫びにこれ
あげます
かわいい～～～！
美味しそう！
はやや
オムライスを
ロールケーキ風にして
食べやすくして
みたんです
こんなメニュー
あったっけ？
試作品です
よかったら
残業のお供に
してください
味は保証しますよ
天使……
あはは
どうしていつも
優しくしてくれるの？


体質、かなぁ
本当は他の欲を満たしたほうが効率いいんですけど
？


ゆううつな時は料理をすると気分転換になりますよ
って
その発想になるのがすごいんだよなぁ


私は作ってもらって
食べるほうが好き
おいし〜♥
あっ
それ
喫茶MurMur（ムルムル）？
知ってるの？
ムルムル
もちろん！
ルカくん
かっこいいよね〜〜〜!!
あの喫茶店
店員の顔面偏差値
高いけど
ルカくんは別格！
顔 最高！
体エロい！
栄礼大の国際学部で
将来の輝きが
すでに見える!!

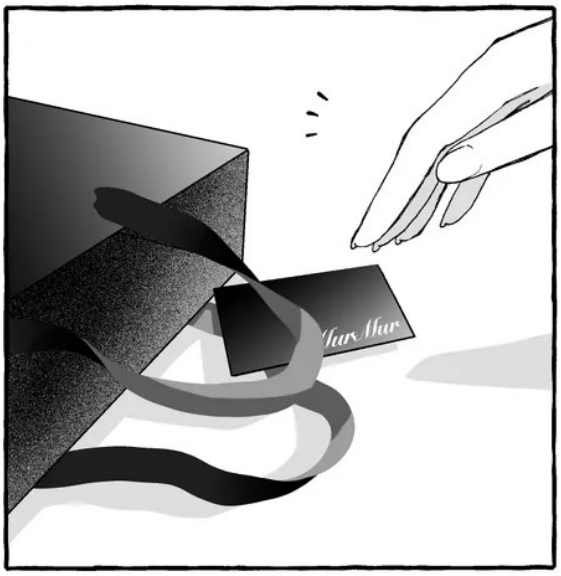
それでいて
お客さんとは
連絡先を
交換しない主義！

硬派〜〜♥♥♥

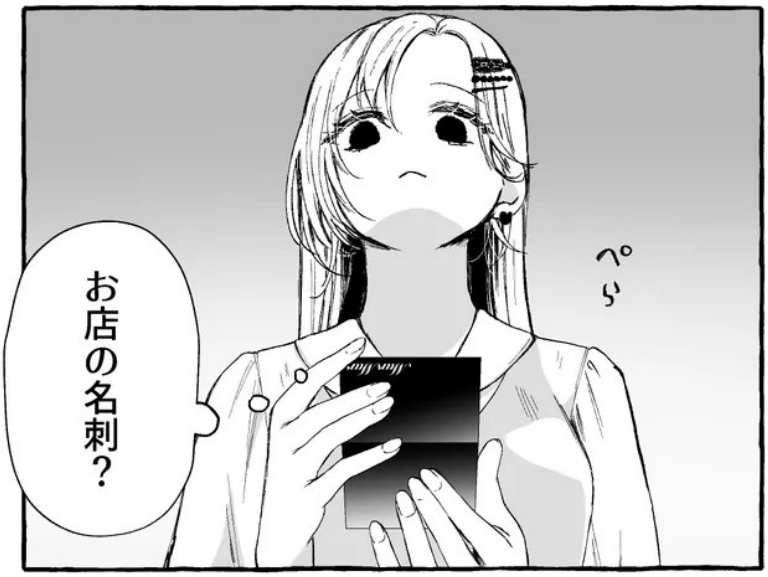
会社で
こんなに
人気とは…

ちょっと
離れたとこに
あるのに





こ



ぺら

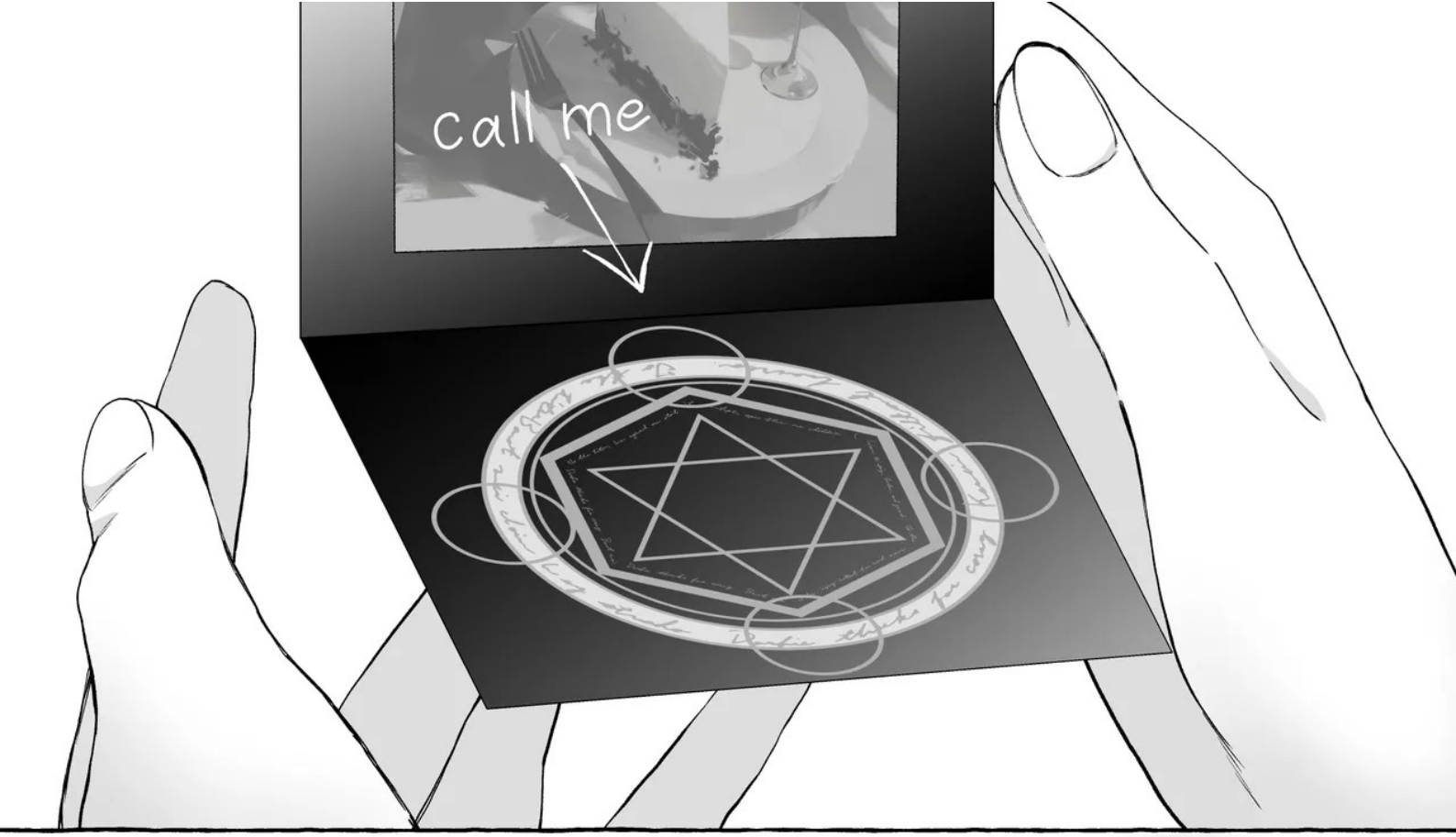
お店の名刺？



まさか

連絡先?!

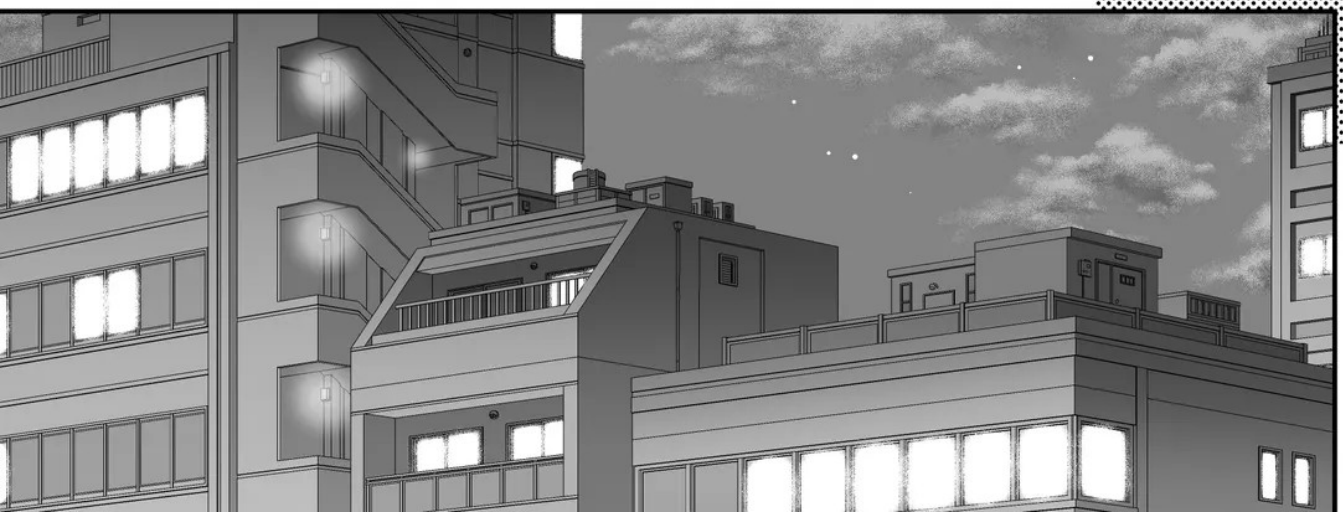


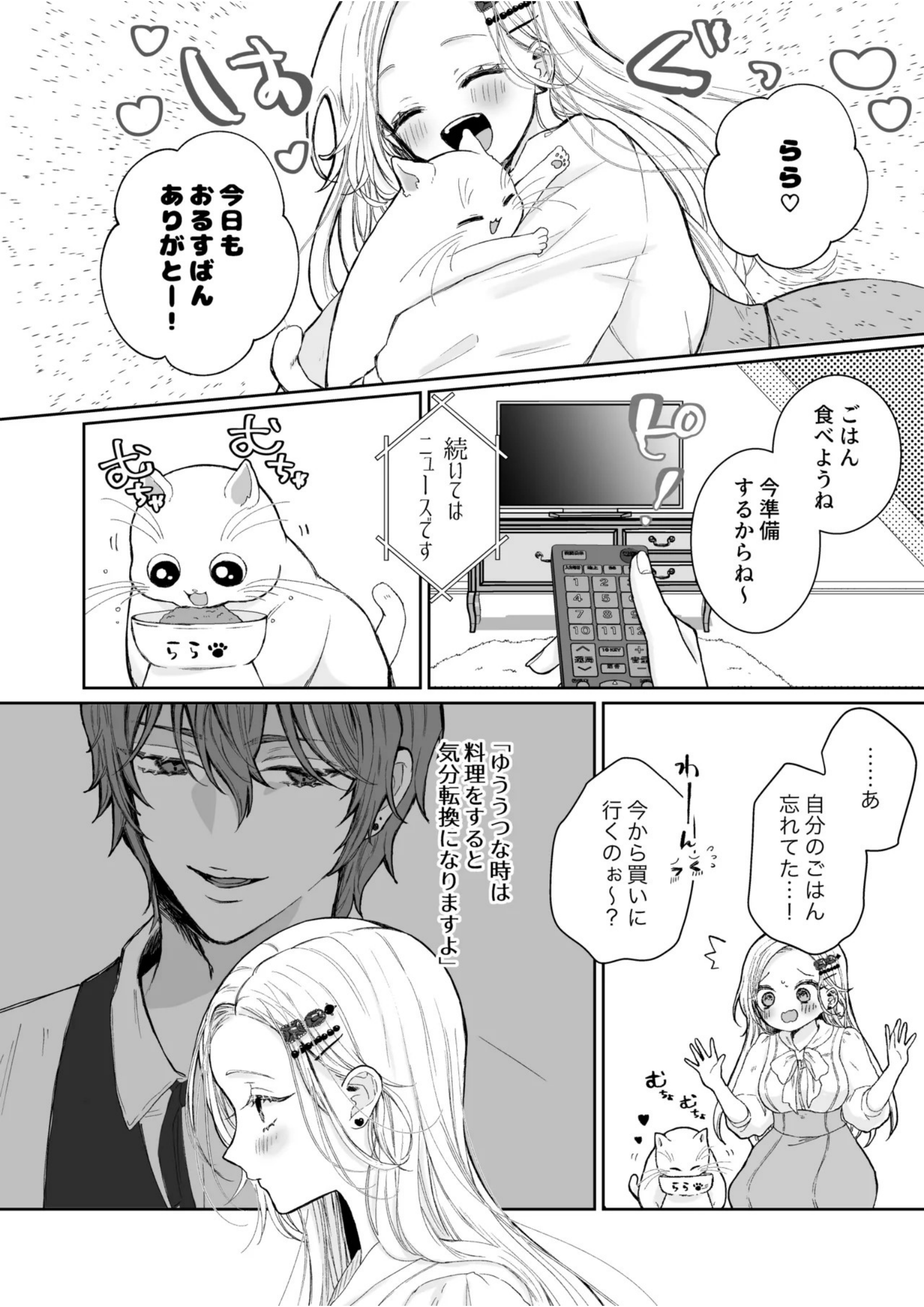


魔法陣……??



って期待しちゃった
はずかしい～～

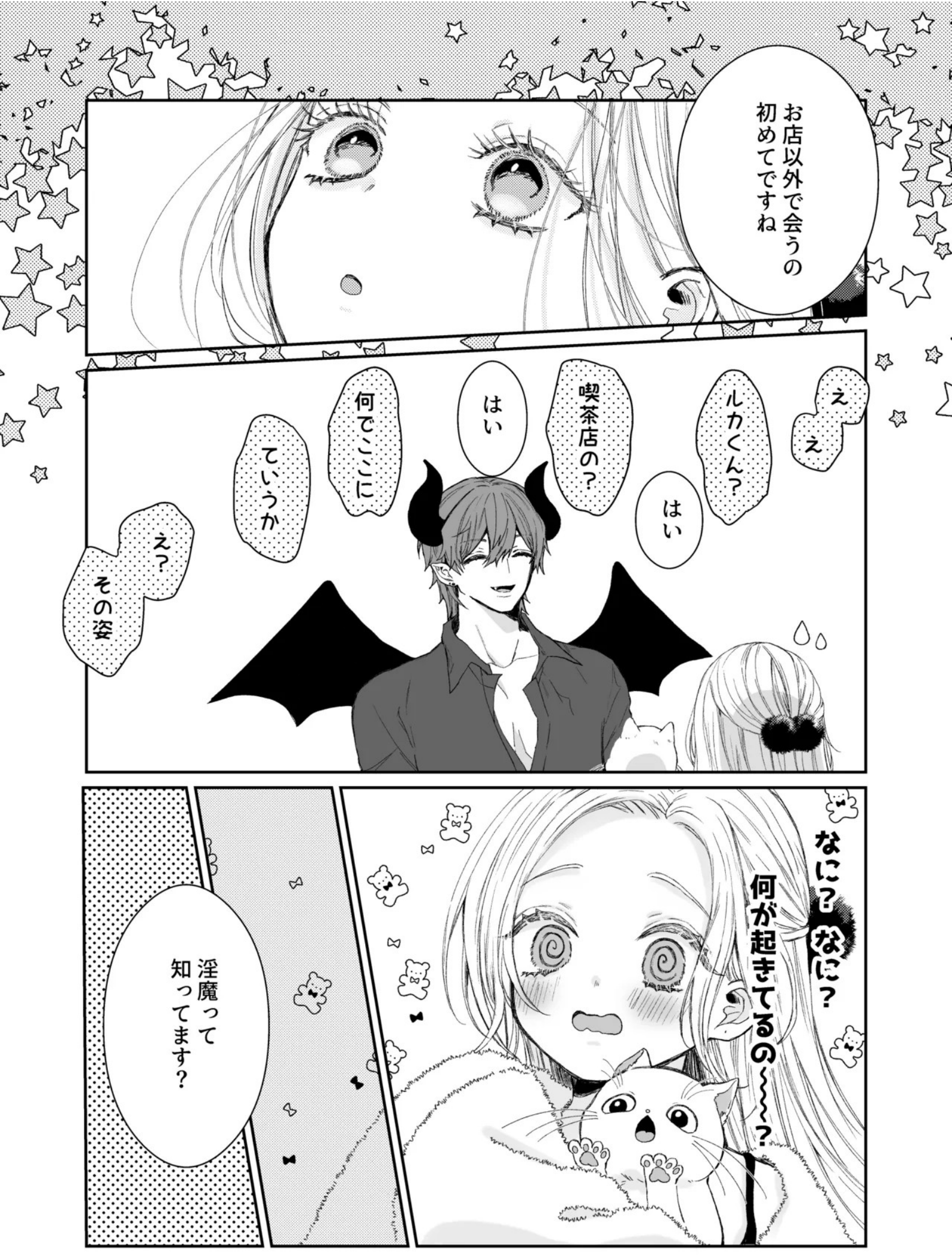



ぐぅ
らら♡
今日も
おるすばん
ありがとー！
ピ！
ごはん
食べようね
今準備
するからね～
続いては
ニュースです
おちゃ
おちゃ
ららの
……あ
自分のごはん
忘れてた…！
ゎーん(っ´ω`c)
今から買いに
行くのぉ～？
むちゃ むちゃ
「ゆううつな時は
料理をすると
気分転換になりますよ」


よし…！
うん！
しなびてるけど
まだ食べれる！
えぇと
パックごはんは
この辺に…
ガッ
あ！
あ～～…
MurMur


じょ…
ルカくんのごはん
食べたいよぉ〜〜〜…
ぽっ


ゴオ
あれ
思ったより
早かったなぁ


お店以外で会うの初めてですね
ええ
ルカくん？
はい
喫茶店の？
はい
何でここに
ていうか
え？
その姿
なに？ なに？
何が起きてるの～～～？
淫魔って知ってます？


夢にお邪魔して
ご奉仕させていただく
代わりに
幸福感（エクスタシー）に
満たされる瞬間に放つ
エナジーを貰ってます
女性の悦びが
俺たち
淫魔の糧なんです
おねーさんにも
とびっきりの夢
見せてあげますよ♥


夢のあとは
死……
ぎゅっ…
死にません
ちょっと
疲れるくらいです
でも映画では
悪魔と契約すると
大抵魂を取られるよ!?
大人なら
映画と現実
分けてよねー
ぐっ……
ファンタジーな
見た目しといて
淫魔なんて外部からの
魔力供給が必須の
卑しい身分ですから
人間とは
持ちつ持たれつで
いたいんですよ

……ふーん？

淫魔ってそうなんだ

でも、なんか……

ルカくんってそういう風には見えないな

余裕？　気品？が、あるというか……

もっと強い何かのような……

とにかく


癒してあげますよ
カラダで♥
気持ちよくなったら
何もかも
忘れられますよ
わっ
わっ
ま、待って
これが本当に
あのルカくん!?
色気がすごい!!
あ、あの
私
そういう
経験ないの……っ

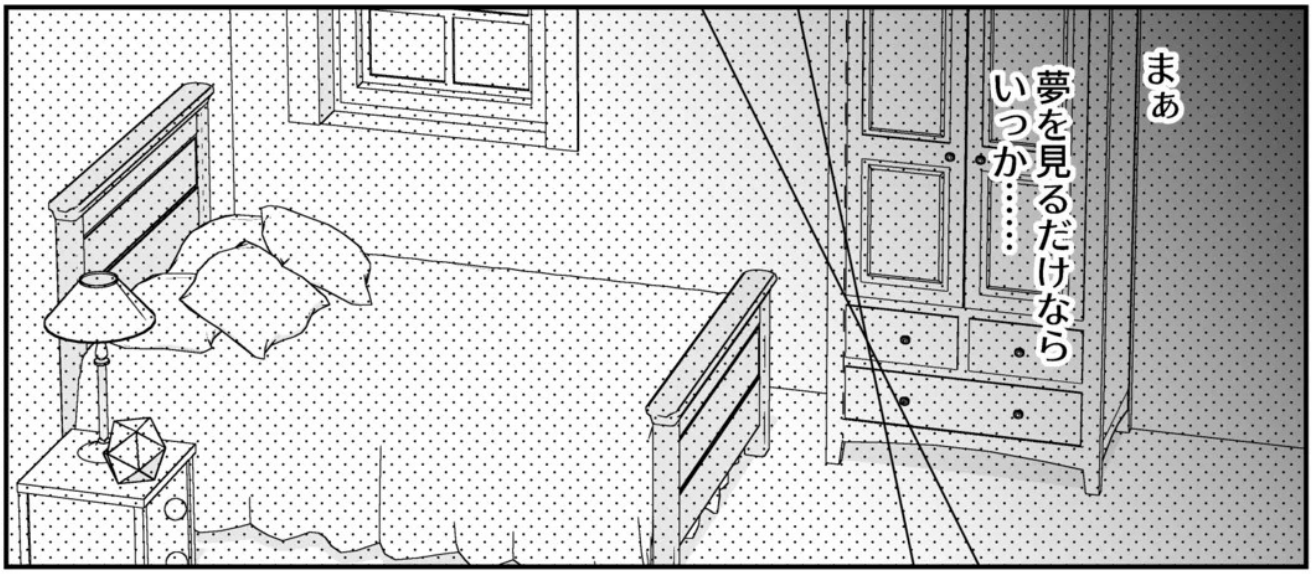

だから気軽にそっ そういうことできないし
ルカくん年下なのに恥ずかしいけど
こ
怖いから…っ
あと
猫がいるので鳥はちょっと！

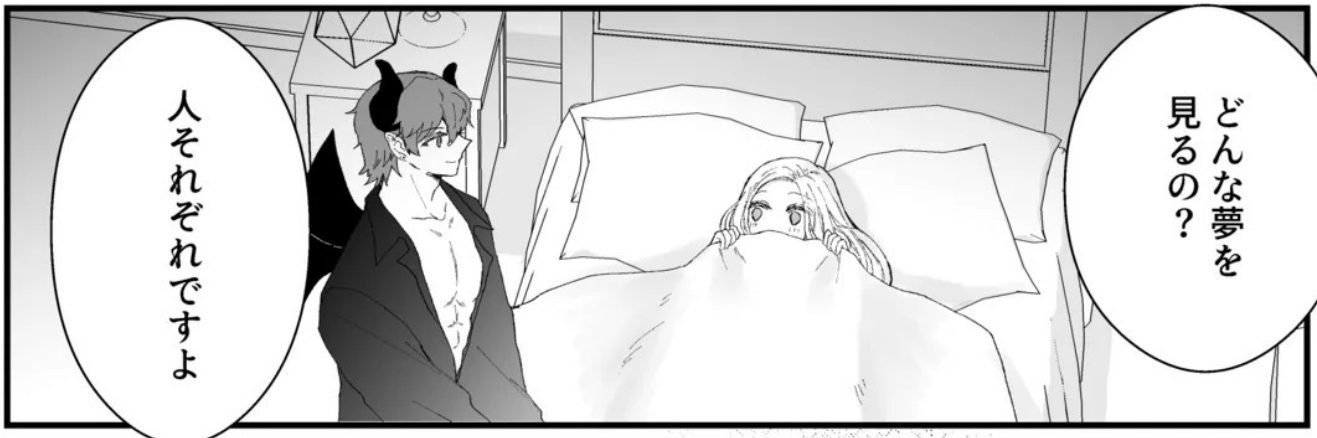



ぶ
ぶ
ぶ
ぶ
一瞬で手懐けた……！


無理強いは
しませんけど
おねーさんからしたら
ちょっとえっちな夢を
見るだけですよ
コウモリは
鳥類じゃ
ありませんし
一回
試してみません？


おねーさんなら
特別に
無料ですよ♥
む、
無料……！
無料って聞くと
なぜか断れない


まぁ
夢を見るだけなら
いつか……



たとえば場所は
その人にとって
印象深い所になりますし

内容も心の底で
望んでいるものに
なります



ツノとしっぽと
羽があるルカくん
なんて

もう夢を
見てるみたい

おやすみ

よい夢を

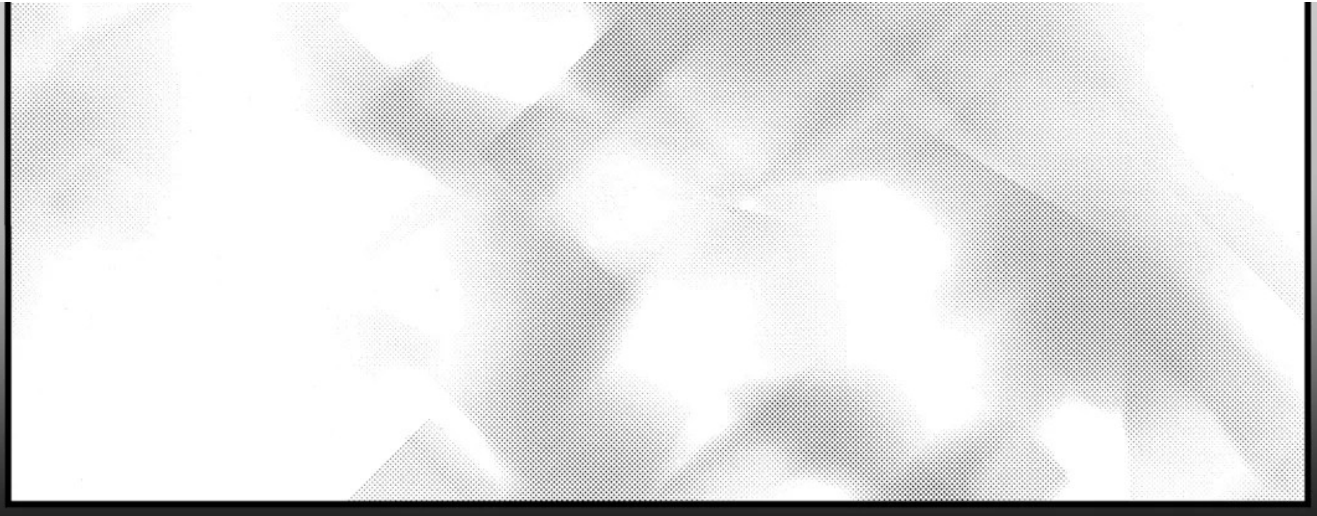
だけど
声は普段の
ルカくんだから

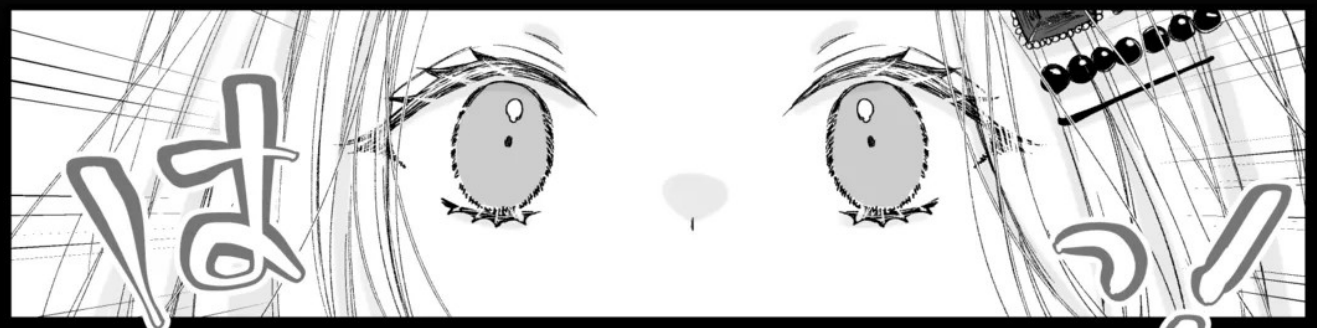
怖くないかも……

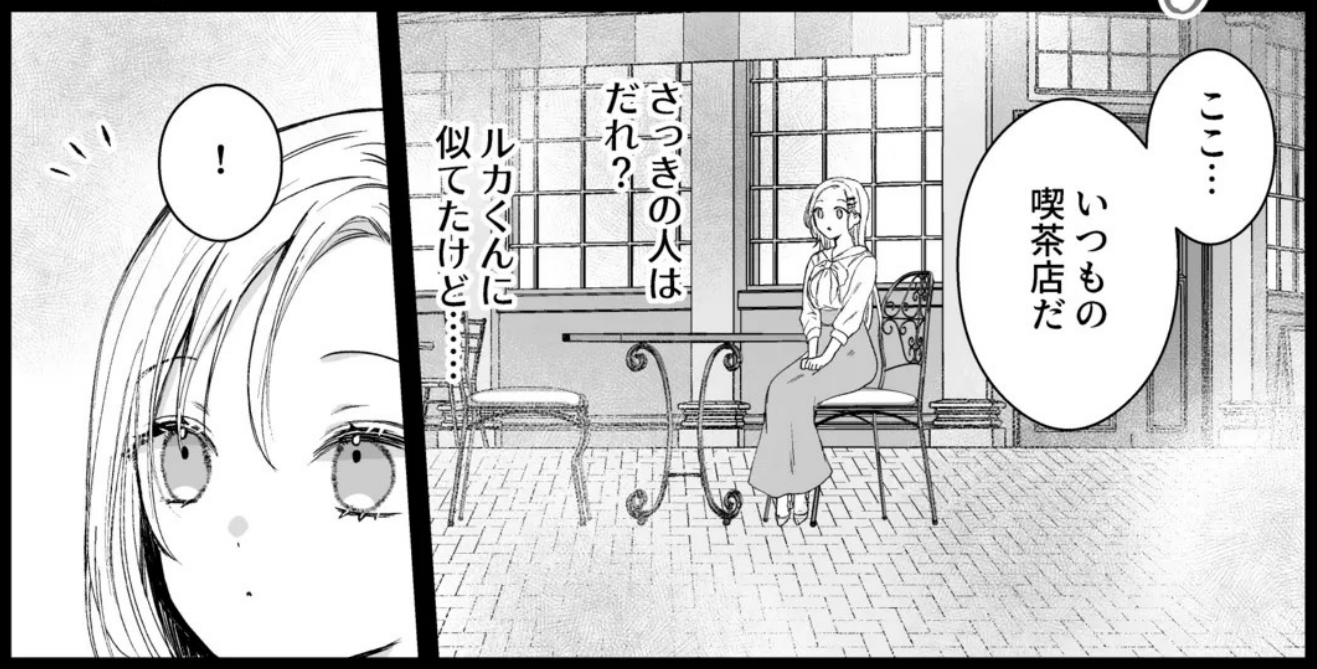
どこだろう

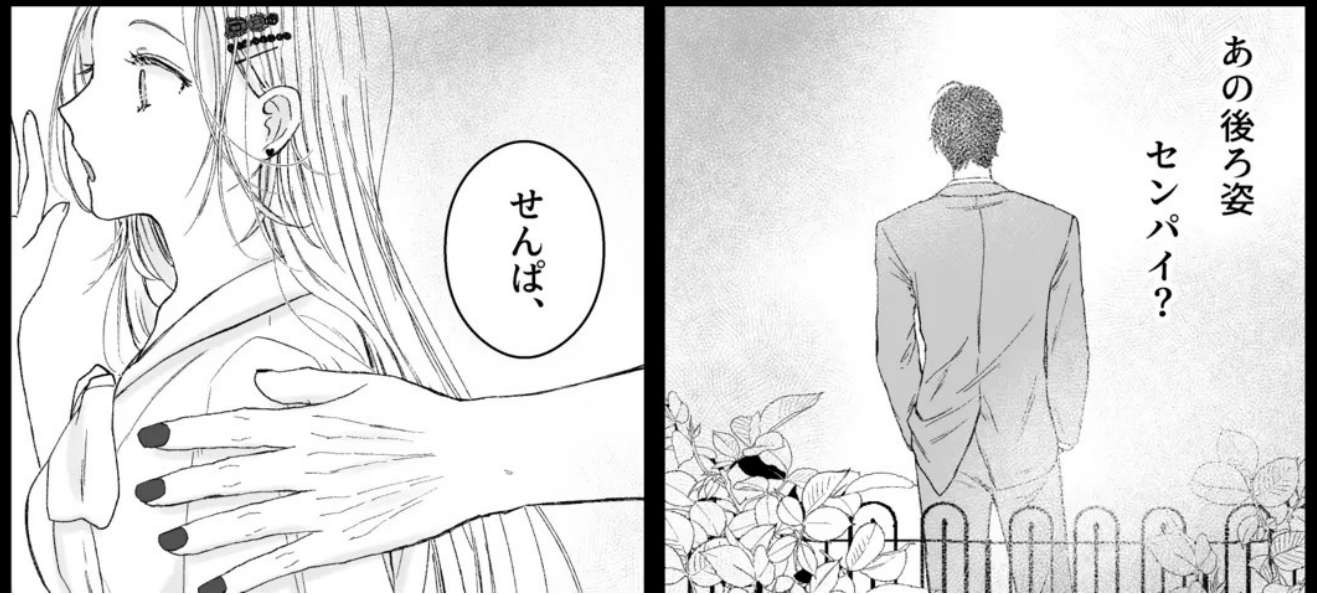
この景色


あ…
ルカくん……？




はっ?!


ここ…
いつもの喫茶店だ
さっきの人はだれ?
ルカくんに似てたけど……
!


あの後ろ姿
センパイ?
せんぱ、


夢に見るくらい
あいつが好き？
ルカくん……！


キスも初めて？
……
こくん
思ったより
リアルな夢……！
き、きんちょうする……
どきん
どきん
どきん


おねーさんが
来てくれるの
いつも楽しみに
待ってたのに
ここにいる時は
俺だけ見てよ
どきん


それなら
うんと
甘くしてあげる
ルカくん……
そういえば
つらいことがあった日は
いつもここに来てた
そうすると
いつの間にか
元気になれて…
もしかして
ルカくんが
いてくれたから…？


私
ほんとうは
ルカくんのことが……
あっ……
ぷるんっ♥
だ、だめ！
こんな所で…っ
こんな所？
ここは夢の中だよ
だから
いっぱい
気持ちよくなって
いいんだよ
ちゅ♥
ちゅ♥
とろん…♥
そっか
ここは夢だから
いいのかな……


あ
ストッ
くちゅ
濡れてる…
可愛い…♥
ふるふる…
ん
ガタッ
ルカくんっ
それ
や……っ
びくっ
あ
ん
ぞくぞく
んん…っ
にゃ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
じゅる♥
メロメロ…♥
ん
っ


舐めるのと
吸うの
どっちが好き？
からだが熱くて
おかしくなっちゃうよぉ…！


あ
あ
びりびりする
きもち、い…♡
ヌトォ…♥
好きな人いるのに
俺にされて
イっちゃうなんて
ホントは俺の方が
好きなんじゃないの？
!?
……ッ!!
も、もぉ終わりっ
やだ♥
俺、本気に
なっちゃったから

俺じゃダメ？

ねぇ

好きって言ってよ

ルカくん…

私…

ここでルカくんと
話す時間が
楽しかったんだと思う

何よりも…

ああ……



夢みたい

ルカくんが好き…




俺も
おねーさんが…
小雨ちゃんが
好きだよ
やっぱり
夢で終わらせて
あげない
ぱち…
あれ？
私の部屋…？
おく
夢から
覚めたんだよ
ここからは
現実……♥


えっちな夢見てたから
ぐちゃぐちゃだね♥
スルル…
くちゅ
あ…♥
奥までぬるぬる
ズポ♥
ぴっ
あっ
ヌチ
うぁ…♥
ヌチ
だめ
そんなにしたら
ぬる…♥
ヌチ
ヌチ
ヌチ
また……っ
ビクッ
びくんっ♥
あっ…♥
ずくっ
ずくっ
ずくっ♥


えっ
あ
と
止まって♡
くちくちくちくち
びくっ
びくっ
びくっ
ビクッ
ビクッ
だめ♡
んっ♡
うん♡
ビクンビクンッ
もう我慢
出来ないや
ビクッ
ビクッ
ああ……
私……
ビクンッ♡
小雨ちゃんの全部
俺にちょーだい♥
ルカくんに
食べられちゃうんだ……♡


つぷ…っ
くぷぷ…
あ♡
痛くない？
はぁ…
はぁ…
う、ん♡
ルカくんの
奥、いっぱい
みち♥
初めてなのに
みち♥
き、もち、い
……っ♡
ずっ…
小雨ちゃん…ッ
ぐぐ…っ
そんなに
深く
しちゃ♡
びくん！


ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ


きもちいい…っ♥
セックスってこんなに……♥
こんなんじゃ足りないよ


まー
処女の想像力じゃ
この程度か
え？
え？
ヴ…ッ


なぁに？
これ
ルカく…
やっ
やだ
きもちわるい……っ


ちゅぅ…
ぽっ♡
ちゅぅぅ
ちくび
ちゅぱ
ちゅぱ
そんなに吸ったら…♥
ぴゅっ♡
ぴゅっ♡
ぴゅっ♡


そこは
だめ……っ
ぬぷぷ……
やっ
ぢゅうう
ぢゅぢゅ
ぢゅぢゅ
あ、あ、あ
ぢゅぢゅ
ぢゅぢゅ


先っぽ丁寧にシコシコされるの気持ちいいでしょ？
こんなのやだ！
離し…ッ
何が嫌？


浅いとこに
指挿れながら
皮でクリ扱くのも
嫌？
外と中
同時にすると
気持ちいいでしょ？


ルカくん
なんか
変だよぉ…
怖いことは
起こらないって
ゆってたのに
ルカくん
こわい……っ
こわいのにっ♥


休んでる暇ないよ


メスぉち♡
俺のことも
気持ちよくして
ぎちぎち♡


なんれ
おちん
さっきと
ぜんぜん
ちが…
ビクビク
ズブ
ズッ
あ～～～…
奥まで
トロトロなのに
締まりいい…
こんなまんこを
夢だけで済ますなんて
できないよ
ぎちっ
ぎちっ


乳首もクリも
もっと勃起させて
本気のアクメ
見せてよ
どちゅっ
どちゅっ
どちゅっ
どちゅっ
どちゅっ
どちゅっ
ルカくんの声
聞いてると
脳みそがビリビリして
とろとろになってくる…


ずっとイッてる♥
おなかの奥ズボズボされるたびイッちゃう♥♥
クリ同時にするのだめ♥♥
またイく！
びくびくびくび


これは夢？
ほんとに現実？
わかんない
わかんない♡
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
たん！
たん！
たん！
やだやだ♡
こんなに強いの
こわい！
きもちいい♥
深いとこ
トントンしないれ♡
頭バカになる♡
きもちいい♥
パン
パン
パン
パン
パンッ
きもちいい♥♥


ぢゅぢゅ
ぢゅぢゅ
ぢゅぢゅ


あぁぁ
あ〜〜〜
射で精る
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ






ん……
朝……？
目が覚めた？
おはよう
おねーさん


ルカくん……！
部屋片付けたし
猫の世話もしたし
ゴミ出しも終わったよ


それとこれは
朝ごはん
宅配便を受け取っといたよ
おねえさん
え
え


はい、
あーん♥
おいしい…
よかった

おねーさんの
エナジーも
美味しかったよ♥
お…みせられないにゃん！
あはは
思い出しちゃった？
分かりやすい


やっぱり…
可愛いね、
おねーさんは
……
昨日言ってたのって
ほんとう…？
ん？
わ
わたしのこと
す… すき って…
その…


昨日って
夢の話？


……
ぜんぶ、ゆめ？
うん
…途中で
目覚めたのは…
そういう夢


淫魔
こわい……!!
あれ
あたまが……
どく

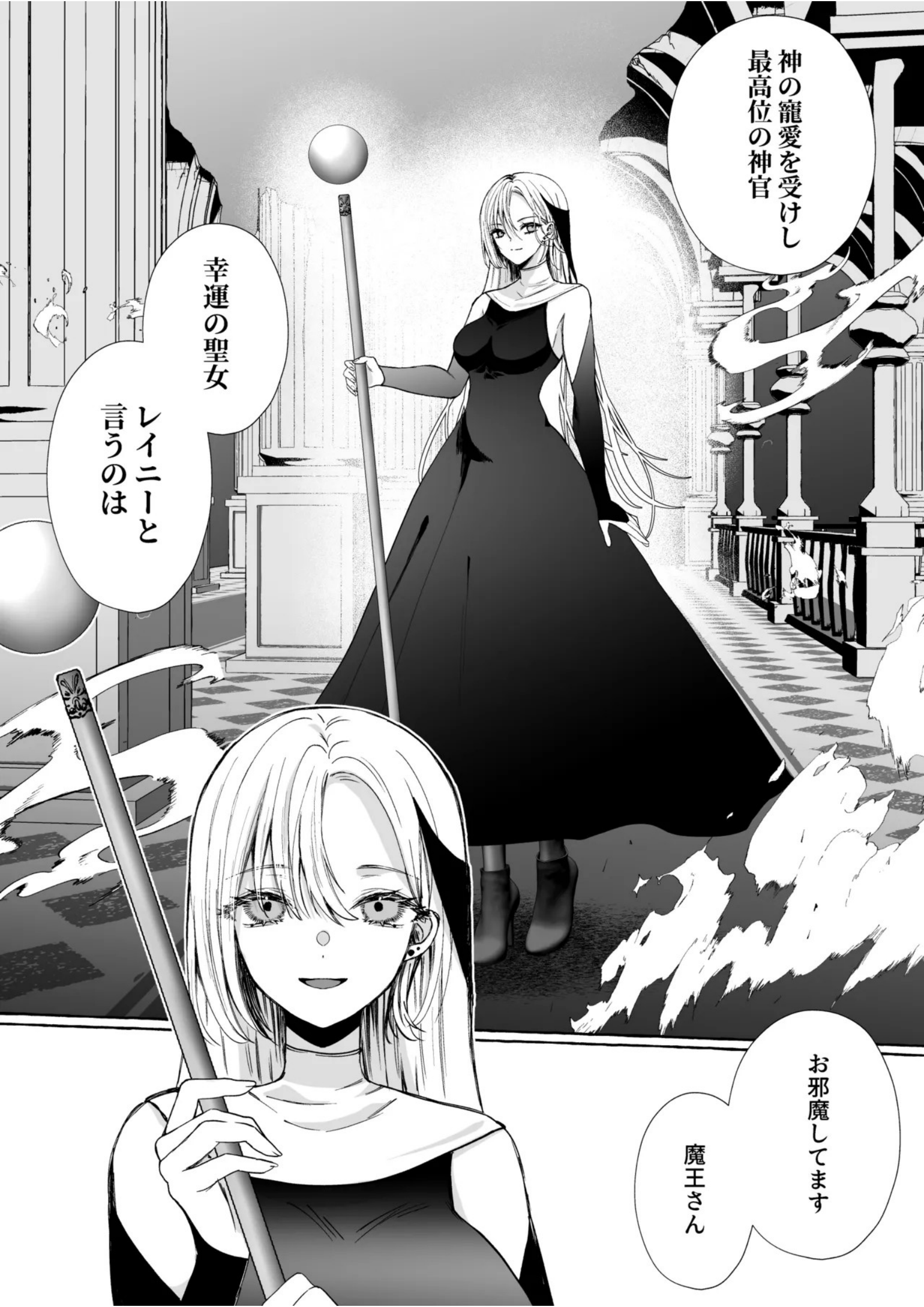

どうしたの
おねーさん
また眠く
なっちゃったの？
わ…
から…な…
体に力が
入らない
言ったでしょ
淫魔の
夢を見ると
疲れるって
大丈夫
家のことは
みぃんな俺が
終わらせたから


もう一度シよ
意識
が……
にゃ


ごめんね
君も少しだけ
眠っていて
許して
すぅ…
君はずっと
この人と
いたんでしょ
俺は何百年も
探して
ようやく
この世界で
見つけたんだ
まさか次元を超えて
転生してるなんて
思わなかったよ

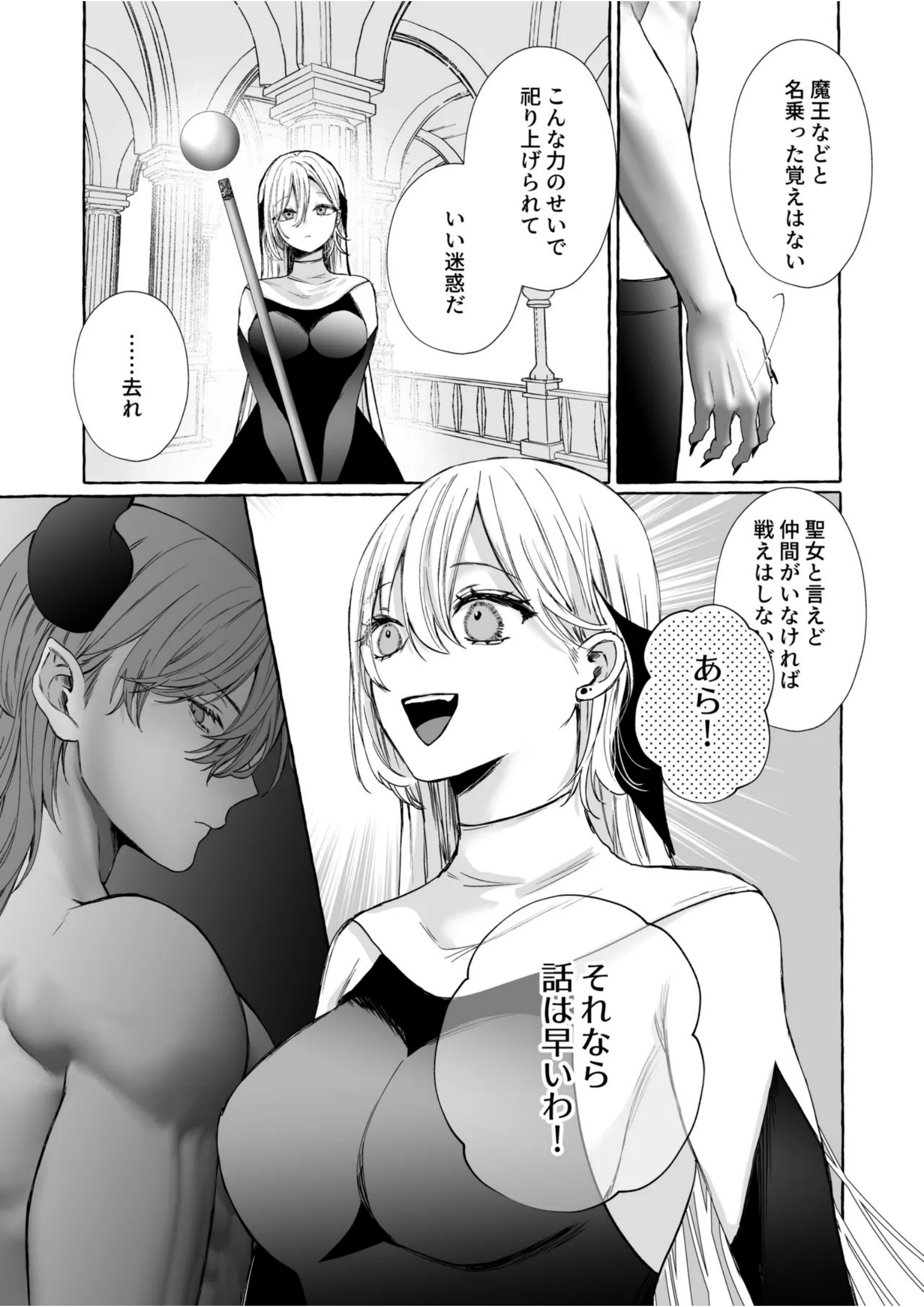

ねえ
聖女
レイニー
魔王様！
人間どもが城(ここ)まで
攻め込んで来ました！


……あんたか
コッ


神の寵愛を受けし
最高位の神官
幸運の聖女
レイニーと
言うのは
お邪魔してます
魔王さん


仲間は
どこに隠れている
無駄ですよ
お城が壊れる前に
やめてください
私の身には
私の望んだことしか
起こらないんです


私の身には
ね
でも
聖騎士や魔導士にも
相応の加護は
あったのに
魔王さんって
お強いんですね
ふ〜ん


魔王などと
名乗った覚えはない
こんな力のせいで
祀り上げられて
いい迷惑だ
……去れ
聖女と言えど
仲間がいなければ
戦えはしない
あら！
それなら
話は早いわ！


私もこの力に
辟易してたんです
カッ


私の持つ
神の加護で
あなたの魔力を
極限まで
弱められます
魔王の力を
封印するとなると
さすがの私も
全てを賭けねば
なりませんから


お互い
地位も名誉も
何もかも失いますが
あなたさえ
いなければ
親の俺より
強い魔力を持つな
認めん
お前さえ
いなければ
あの子の近くにいる
運を吸い取られるのよ
私達とは違う
あなたの力があれば
救えたでしょう!?
あなたが
いなかったせいで
もう力に
振り回されることは
ありません


託したよ
君は一人で大丈夫


……
置いていかれる
こともありません

幸運の聖女

神の愛し子

数ある彼女の
二つ名の中で

最も我々魔族を
震え上がらせた
その名は



天罰（てんばつ）

それが

蓋を開けてみれば
随分小さな女だった

それで

興味をなくした


なのに女は
しばらくの間
城の近くの森に
住み着いて
毎日俺の魔力を
吸い取りはじめた
今日も
魔力ちゅーちゅー
しちゃいましょうね～
ごーにごーにちゅー
了承した
覚えはない
抵抗もしないじゃ
ないですか♪
魔力が
削られるに従って
体が軽くなっていった


何日かける気だ
一気に吸えばいい
そうしたら
魔王さんの体に
負担が
かかっちゃいますよ


……何故 気遣う
お前は元々
俺を殺しに
来たんじゃないのか
私そんなこと
言った？


私達
おなじ悩みを持つ
仲間じゃない

……変な人間だ

ちょき

魔力は
あらかた
封印できたわ

これであなたを
魔王と呼ぶ者も
いなくなるでしょう

ふふ

かわいい

……ふん

力を失ったのですから
お互い闇討ちに
気をつけましょうね



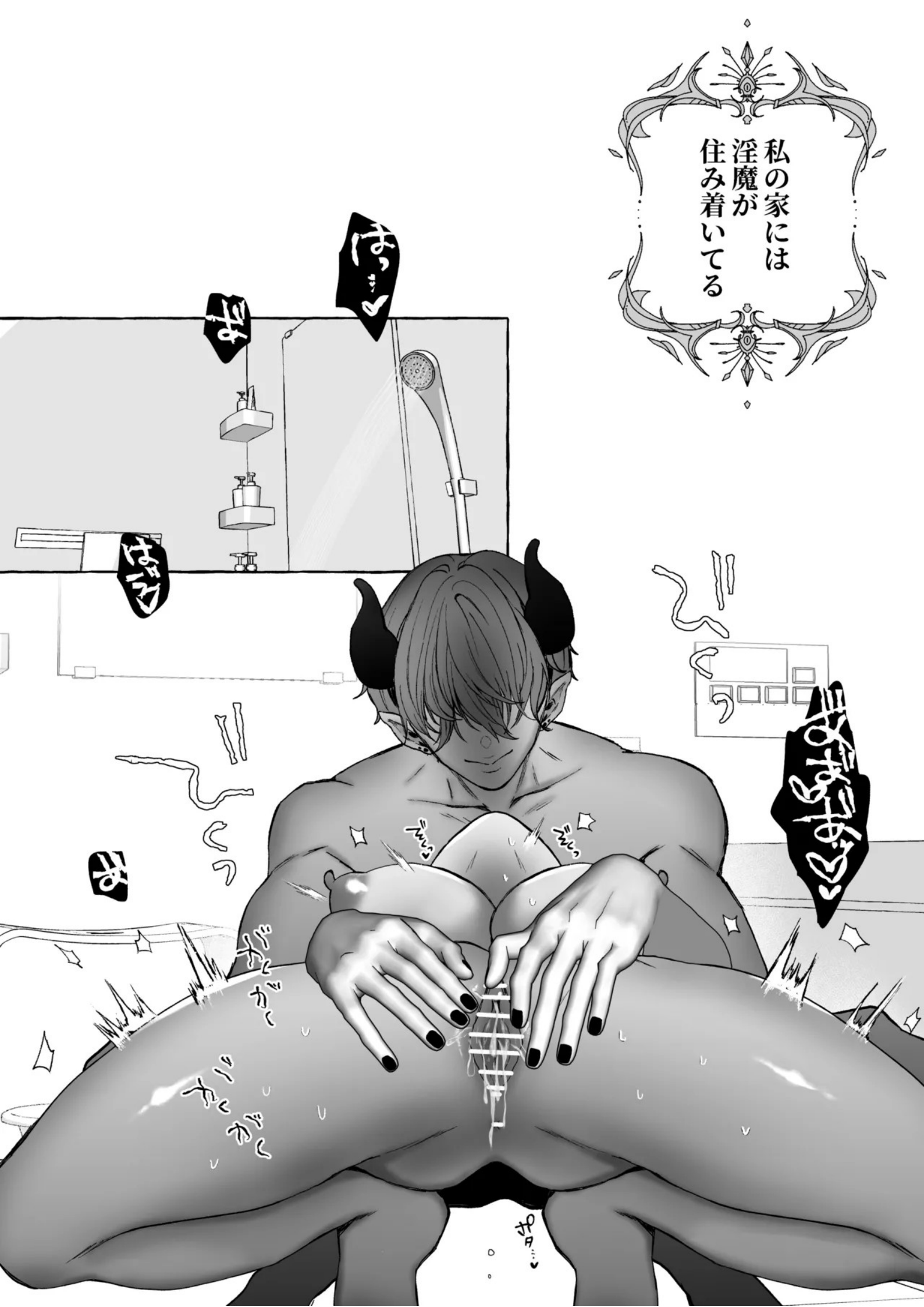
俺に『仲間』などと
言って

聖女は余生を
本当の仲間への
祈りに費やした



腹の底で煮える感情の名前を知らなかった

私の家には淫魔が住み着いてる


はっ♡
はぁ♡
はぁ♡
ぐっ
ぐっ
ぐっ


皮のナカまで
綺麗に洗えたよ
ルカ
く…
ここまで
しなくても…
いいんだよ
おねーさんの
悦びが
俺の糧なんだ
全部任せて


いっぱい
えっちなこと
してるけど
これはぜんぶ
夢の中の
出来事だから
らいじょうぶ…♥
ぬぷ…♡
ぬぷぬぷ
ぐぐぐぐぐぐ
ビクビクッ！


この姿になって
人間と
関わるようになって
分かったんだ
嫉妬
あんたも
人の身に堕ちて
何か分かった？
？

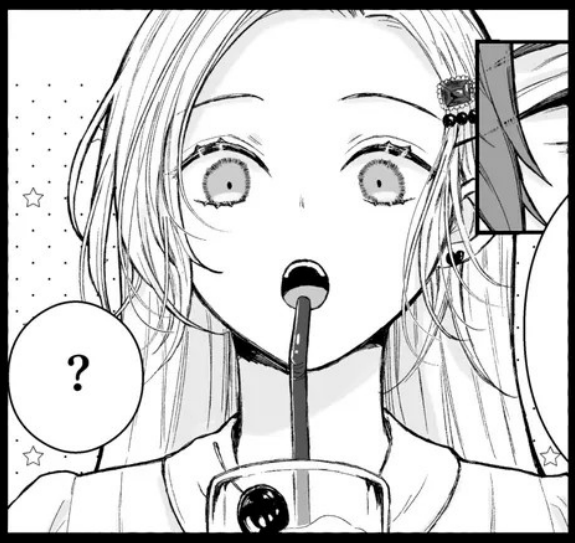

なんで俺だけ
覚えてて
あんたは
忘れてるんだよ
ビュルルル
ぁぁぁぁ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ


浮かび上がってきた
ボゥ…
番(ツガイ)の証
おめでとう
おねーさん
これで
淫魔の眷族だよ
はえ…？
こぇ…
ゆめ、じゃ…？


堕ちた聖女には
お似合いでしょ

これでもう

ずーっと一緒だよ



生まれてからずっと不幸体質だが
あまり深く物事を考えないので
なんだかんだ元気にやってる。会社員。

前世は異世界で【幸運の聖女】と呼ばれ
若くして最高位の神官に上り詰めた。
幼い頃、天啓により神の加護をその身に宿し
「望まないことは起こらない」ようになった。
どんなに土砂降りでも彼女が「晴れて」と
願えば虹が出るが、
崖崩れに遭っても彼女だけが生還し、
いつしか周りでは「聖女レイニーは
他人の運を吸い取る悪魔」と噂されるように。

魔王討伐の司令が王から出たとき
自分に宿る神の力を手放す方法を思いつき
聖騎士達と共に旅に出た。

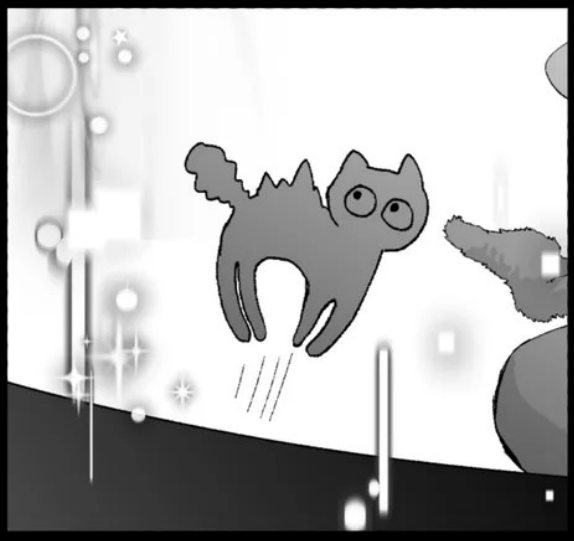


大学に通い、カフェバイトしてる淫魔。
「おねーさんにだけですよ♥」と言いながら
みんなにしてそうな雰囲気がある。

前世は異世界の魔王。
魔王は世襲制ではなく、
その時々一番強い者の元に魔物が集まり
自然と魔王と呼ばれるようになる。
ルカは生まれつき魔力が父親よりも強く、
魔王の座を狙っていた父親に
殺されそうになった過去がある。

魔王の座には興味がなく、
魔王として何もしなかったために魔物達の
統率もとれず、
魔物が好き勝手に人間に攻撃していた。

聖女レイニーの魂の生まれ変わりを
ずっと捜していた。



本編最後にルカにより眠らされたが、
えっちしてる時に構ってあげられないのが
可哀想でその間寝てるだけ。

（本編最後のルカは現実でしたり
夢の中でしたり、好きに小雨を弄んでる）

おいしいごはんをおなかいっぱい食べる夢を
見せてもらって幸せ。



聖女レイニーの護衛として共に旅立った
聖騎士と魔導士。
魔王城で戦闘不能になってしまい、
レイニーに二人のピアスを託した。

・聖騎士
代々剣聖を排出してきた家系。信心深い。
レイニーを神に近しい特別な人間として
神聖視してる。彼女の剣として死のうと
考えていて、それを伝えたときに
淋しげな笑みを返されたことが
胸に引っかかったが、彼女を特別だと
思うあまりにその気持ちを察することは
最後までできなかった。

・魔導士
二人より年下だが、
宮廷魔導士をもってして稀代の天才と
言わしめる攻撃魔法の使い手。
「なんで聖女なのにエロい服なんすか」と
直で聞いて聖騎士に引っぱたかれてる。
レイニーはツッコミ待ちだったから
初めて突っ込んでくれた魔法使いくんを
気に入っていた。

この作品で描きたかった性癖は触手でも淫魔でも年下攻めでもなく、
【現在はへらへら笑い飄々として強キャラ感出してるのに過去は無口で根暗で孤独で、その時唯一心を通わせた人にどちゃくそ執着している積年のヤンデレ】です。
何杯でもおかわりしたいくらい好き設定なのでぜひまた描きたい。

あと、よく見る表現(tkbの残像とか左右別々に揺れるopiとか)にチャレンジしたり、今までやったことない影のつけ方も試して、いろいろ勉強になりました。

ここまで読んでくださってありがとうございました！

←以降は使おうとしたけど使わなかった絵です。

小桃姫そよ



